

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

園名	大丸ゆうし保育園
活動日時	令和7年2月14日(金)
クラス名(年齢)	いちご組(1歳児)
年間テーマ	光

1. 活動のテーマ

<テーマ>

ひかり⑥ ～太陽の光があたると…?～

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

電気の光とは違う太陽の光の存在に気付き始めた子ども達。お天気が良いと、窓際までいき、暖かさや影を楽しんでいる姿が見られるようになった。

2. 活動スケジュール

お天気が良い日、窓際での光に対する子ども姿を追う。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定


子どもたちの様子を見て、サンキャッチャー、クリスタル積み木

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

午睡明けの子ども達の様子を見守る。様子に合わせて声掛けをしていく。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

子どもの言葉・姿	写真
<p>午睡明け、サンルームに光が当たるのを分かっている子どもたち。自分の身体に光をあてていく。</p> <p>今までは暖かさを感じている様子だったが、窓の影が自分の身体に付く事に気づき、保育士を呼んで知らせる。</p> <p>「太陽の光があたって陰になっているね～」と、共感する。</p> <p>手や足を動かして、身体に当たる光の加減を観察している。1人がやっていると、他の子もやってきて一緒に影を体にあてて楽しんでいる。集中して10分程やっていた。</p>	

5. 振り返り <振り返りによって得た保育者の気づき>

以前よりも光や陰に反応するようになってきた。自分の身体にあてて楽しんだり、室内にサンキャッチャーの光がキラキラしていると窓の方を見たりと、子どもたちなりに太陽の光を理解し始めているのかもしれない。今までの保育士からの話（太陽が隠れている＝暗い）を覚えているのかもしれないが、曇りで室内が暗いと「たいようさんいないねー」と、太陽の光がある、ないを実感できている様子。遊びや生活の中で、太陽の光を意識して、遊びにつなげていけるといいなと感じた。